

**東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を  
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

**【研究課題名】**

食道癌術前化学療法の奏効と再発形式の関連を明らかにする多施設共同後ろ向き観察研究

**【研究の目的】**

下記の試料・診療情報等を利用し、化学療法を行った後に手術を行った食道癌患者さんを対象に、術前化学療法の効果と遺残腫瘍や手術後の再発形式を検討することを目的とした共同研究を実施するためです。

**【研究の対象となる方】**

2010年1月1日 から 2015年12月31日 までの間に、当院の消化器外科で食道癌について化学療法後に手術を受けられた方です。

**【利用期間（研究実施期間）】**

臨床研究審査委員会承認日 から 2023年3月31日 まで

**【研究に用いる試料・診療情報等の項目】**

・診療情報等：年齢、性別、病変の占拠部位、病期、術前化学療法の内容、手術情報（胸腔鏡・腹腔鏡、リンパ節郭清領域、術後合併症等）、病理組織学的病期、術後転帰

**【情報の提供先・提供方法】**

上記の試料・診療情報等を、食道癌術後の再発形式の解析のために、日本食道学会（研究代表施設：慶應義塾大学医学部外科学）へ電子的配信にて提供します。

**【利益相反に関する事項】**

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：慶應義塾大学医学部
- 研究代表者：外科学(一般・消化器) 教授 北川 雄光

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

日本食道学会食道外科専門医認定、準認定施設

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：2290)

研究責任者 消化器外科 小柳 和夫

問い合わせ担当者 消化器外科 山本 美穂